

2025年（令和7年）12月19日 金曜日

デーリー東北10面 掲載

# 上達のこつプロが伝授



秋山翔吾さん(左)の指導に真剣に聞き入る参加者

八戸大で小中学生にクリニック

八戸大で小中学生にクリニック

光星学院スポーツ局（三本木昌局長）は14日、八戸市八戸大（当時）OBでプロ野球・広島の秋山翔吾選手（37）と、元ヤクルトの田代裕太郎さん（36）。市内外の小中学生が、憧れのプロから上達のこつを学んだ。

（丹代裕太郎）

OBの秋山選手（広島）ら特別講師

ボールを握る際のこつを伝授する田代裕太郎さん（右）

クリニックは運動部や要好会などを所属する小中学生に、技術やバフォーマンス、人間力を高めてもらうため年に数回開催。講師は同大野球部の畠真が講師を務めるが、2年に1度プロ選手らを招いている。

この日は小学生32人、中学生33人が参加。秋山さんと田代さんが、投球や打撃のこつを実演を交えながら解説した。最後はじゃんけん大会が行われ、秋山さんに勝った子どもたちにサイン入りの広島のユニホームや帽子などが贈られた。ユニホームを手にした市立長中3年の後藤洋太さんは「素直にうれしい」と感激込んだ。市立八戸一中1年の佐々木大輝さん（13）は「2人の体幹の強さや素振りのスピードに驚かされた。近づけるよう練習を重ねたい」と話した。

13日には同大の卒業生と在学生、教職員でつくる同窓会の発足40周年記念大会が八戸プラザホテルで開かれ、秋山さんが講演し



打撃練習のこつを、実演を交えて解説する秋山翔吾さん（左）

